

お母さん、一つ提案があるのです。

授業の進め方なのですが、時間とコストの無駄をカットするためにこのようになってみたいと思うのですね。

こちら、花子さんに使って頂きたいテキストの2種類です。

こちらは、今花子さんが使っている学校の教科書に準拠したワーク系の教材です。もう一つ、こちらは、教科書レベルに標準的問題から、発展的問題をプラスした演習用の教材です。受験まで使えるテキストです。

花子さんの授業は**出来れば先行学習型で進めていきたい**と考えております。

もちろん定期テストの前に復習に戻る計画も立てますが、基本は進めていきたいです。

その際には、教科書準拠ではなく、こちらのテキスト(演習用教材)をベースに計画を組んでいきたいのです。

先行学習ですから、学校よりも単元を進めていくのですが、

- ① 出来ましたら、ここのテキストの中の、ステップ問題の1と2については、自学でノートに進めてほしいのです。
- ② そして、出来なかった問題、解放がよくわからなかった問題にはチェックをつけておいてください。チェックは、×方式でも○方式でもかまいません。問題集に自分なりの印をつけてください。
- ③ つまりこの部分は完全に自学で進めるということです。当然ながら○付けも終わらせておいてください。
- ④ そして、授業の時間は全部で80分ありますので、最初に10分または20分の時間を使って、わからなかった問題を講師からレクチャーをうける時間としてつくっていきます。ステップ問題がほぼ自己解決できている場合や、解説を見て、自己解決したものについては抜かします。  
★どうしても解けなかった問題、★解放で確信をもって解けない問題・・・つまり、花子さんがチェックを付けた問題を「解決するための時間」として10分から20分を使うということです。
- ⑤ 解決後は、通常の塾進行で、先行学習を進めていく、

こんな流れです。

今のは数学での話ですが、英語においても塾でのコストがかかっている授業では、単語や熟語の練習はせずに、文法を先に進めていくことと読解演習を主体に授業を組み立てていきたいのです。

こちら、私が作成した〇〇中学2年生の生徒さん向けのサンプルカリキュラムです。どちらかというと、偏差値で言えば50を中心として、平均的なカリキュラムだと思ってください。

花子さんについては、1年生の結果やこれまでの2年生の定期テスト結果から平均的に7割はとれていますので、

**【目標として、これは私の勝手ながらの計画ですが】**

突破させたいラインとして最初のうちは400点を想定し、学校内偏差値は最低でも63には持っていきたい計画です。

こちら、どういうことかと言うと、花子さんの学校が実施する定期テストの平均点はおおむね300点です。400点を突破するということは、平均点プラス100点ということになります。

計算すると…平均プラス100で、偏差値は12.5高くなりますので学校内偏差値は63を達成できます。

当然ながら、そうなる、5教科すべてを底上げしていく計画です。

今回、数学と英語で提示致しますが、基本は申し上げた先行学習にもっていきたいです。

同時進行で、国語や理科・社会も強化をはかりますので、今度お時間があるときに、その説明時間もただだけますか？

国語については、漢字の読み書き、物語文と説明的文章の読解、古典、文法このあたりの学習のアプローチ方法を教えていきます。

理社については、テキストによって学習への取り組みがかなり楽になるのですね。

花子さんが学校で使っている「学校のワーク」ですが、これはお母さん、勉強しやすいかどうかと聞かれたら、お世辞にも「しやすい」とは答えにくいです。

学校のワークは定期テスト前の課題として示されるため、あまりにも分厚いテキストは採用されないうですよね。

といことは、その分、内容がギュッと詰まっていると言いますか、凝縮されすぎている…と言いますか、まあ有体にいえば、勉強はしにくいと思います。

塾で使っているテキストが最高にいいというわけではありませんが、今まで、講師や生徒さん、そして保護者さんにチェックしていただいた際も「すっごく使いやすい」と言われています。

つまり、理社については、「使いやすいテキストで、勉強のやり方を会得して、なるべく自学で習得してほしい」という思いがあるのですね。

数学、英語にしても、国語・理科・社会にしても  
「**自習**」と「**解決**」の区分けをしていきたいということです。